

JICA 海外協力隊の野球隊員が指導する 17 歳のホンジュラス人選手、 沖縄で開催の「ジャパンウィンターリーグ」でプロへ挑戦

2024年11月23日～12月19日にかけて、プロ野球の長期トライアウト「ジャパンウィンターリーグ（JWL）」が沖縄市のコザしんきんスタジアムで開催されます。JWL と JICA が協力し、開発途上国の若手選手を招へいします。渡航費用は北谷町に本社のある株式会社 Makana House がご負担。中米のホンジュラスから招へいされるダビッド選手は11月21日に来沖し、トライアウト全日程に参加します。

本招へいにつきまして、11月27日（水）に記者会見を実施いたしますので、取材と報道にご協力いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

【記者会見情報】

- 日時：11月27日（水） 12：00 ～ 13：00
- 場所：JICA 沖縄 体育館 （沖縄県浦添市前田 1143-1）
- 登壇者：ダビッド・アルトゥーロ・サバラ・ヌニェス選手、鷲崎一誠（株式会社ジャパンリーグ 代表取締役）、新屋音（株式会社 Makana House 代表取締役）、高砂大（JICA 沖縄 次長）
- 通訳：日本語とスペイン語の逐次通訳あり

【招へい選手情報】



ダビッド・アルトゥーロ・サバラ・ヌニェス（David Arturo Zavala Nuñez）。

17歳。ホンジュラス出身。ポジションは投手で、強打者。U-12、U-15、U-18、で各種国際大会でプレーし、活躍。現在、Gigantes Honduras（ジャイアンツ）に所属。

2022年ホンジュラス代表として第2回ラテンアメリカ・クレベスグアテマラ大会に出場し、チームを優勝に導いた。この大会では、ニカラグアやパナマなど中米の強豪チームが集まる中、投手として2つ、打者として1つの個人賞を受賞する快挙を成し遂げた。

ダビッド選手は、JICA 海外協力隊としてホンジュラスで野球を教えている下浦隼一隊員からも指導を受けている。「ホンジュラスの大谷翔平」と期待されている。



ダビッド選手

日本での滞在期間中、私は野球選手としての成長だけでなく、異文化の中での人間的な成長も目指しています。フィールドでは、自分の持てる力をすべて発揮し、パフォーマンスの向上に努めたいと思っています。日本の野球の厳しいトレーニングや試合環境に身を置くことで、自分の限界を超える体験ができると確信しています。夢はプロ野球選手としてのキャリアを築き、世界で活躍することです。日本で得た経験を活かし、MLBやNPBなどの舞台で戦いたいという強く思っています。そして、自分がホンジュラスの若い選手たちの希望となり、国際的な舞台で挑戦する道を切り開きたいと思っています。私自身の挑戦が、次の世代への架け橋となることを願っています。



下浦隼一さん（JICA 海外協力隊）

ホンジュラスで指導をしていて感じることは、スポーツが持つ力の大きさです。ホンジュラスでは、貧困や教育の課題もありますが、野球が子供たちに夢や希望を与える光になっています。地域社会全体で選手を支える雰囲気もあり、みんなで喜びを共有できることが素晴らしいと感じています。



下浦隊員の指導風景。



【参考】

ジャパンウィンターリーグ HP URL : <https://www.japanleague.co.jp/>

【本件に関する問合せ先】

JICA 沖縄 市民参加協力課 海外協力隊班(担当:木田、若月)

TEL:098-876-6000 E-mail: oictp@jica.go.jp